



埼玉と世界を結ぶグローバル人材の育成 ～グローバル人材育成センター埼玉 (GGS) の取り組みを中心に～

埼玉県国際課

本県発「グローバル人材の育成」をスタート

人口減少・少子高齢化により、国内市場は縮小しています。海外へ打って出ることが強く求められる一方、留学者数は減少傾向にありました。こうした状況に対する強い危機感の下、埼玉県では2011年度に10億円を出資して「埼玉県グローバル人材育成基金」を創設し、「埼玉発世界行き」奨学金制度をスタートしました。

実施にあたっては、6年間の期間限定で集中的に成果を上げることを目指し、約1,600人の留学を支援しました。本県の取り組みが刺激となって、国の海外留学奨学金制度をはじめ、他自治体においても留学支援制度の充実が図られたことも大きな成果でした。

民の力を活かした新たな取り組みへ

本県の取り組みは、海外留学支援をさらに幅広く、長く継続していくことを目指し、より民の力を活かしたステージへ進むこととしました。2017年度、基金を県から（公財）埼玉県国際交流協会による設置へと衣替えしました。運営は帰国した留学生を支援するために2013年度から同協会に委託している「グローバル人材育成センター埼玉」（GGS）で行うこととし、行政の枠を離れることで自由な展開を可能としました。

【民を活かした基金の設置】

埼玉グローバル人材活躍基金

（平成29年度県国際交流協会に新設）

グローバル人材育成センター埼玉

産 学 官 で運営サポート

3億円

埼玉県

企業・個人

ス)に加え、寄附者のお名前、企業名を冠した奨学金を設置しました。奨学生募集要件も寄附者の意向を反映したオーダーメイド型奨学金で、例えば“環境分野での留学”や“母校の学生を応援したい”等が可能です。

奨学生は、寄附者が支援してくれたことを忘れてほしい、それが留学先での励みや将来、社会に恩返しをしたいという気持ちにつながります。両者の縁が結果として就職に結びつくことも期待されます。寄附者の開拓はなかなか大変ですが、寄附者の意向に沿った支援内容を調整したり、帰国後には成果を報告するなど寄附者にご満足いただけるよう綿密なコミュニケーションを図っています。

【冠奨学金の創設】

「埼玉発世界行き」奨学金

- ◆ 地域活躍コース 給付額 20万円×50人
 - ◆ 学位取得コース 給付額 100万円×10人
 - ◆ 高校生留学コース 給付額 50万円×30人
- 冠奨学金 給付額 50万円以上
目玉 寄附者の意向を反映したオーダーメイド型奨学金

冠奨学金 寄附者の募集を開始

寄附者の名称等を冠した奨学金を設立
募集要件も原則任意に設定可能

タイへの留学
を支援したい

母校の学生
を支援したい

〇〇会社海外留学奨学金
埼玉太郎国際人材奨学金



上田知事・寄附者・先輩奨学生も参加する壮行会。芋菓子・五家宝・草加せんべいなどの埼玉銘菓、狭山茶で交流します。また、奨学生には本県と世界の懸け橋となる「埼玉親善大使」を委嘱。冠企業同士の交流も図られ、新たなビジネスチャンスも期待されます。

「冠奨学金」による支援

その例として「冠奨学金」の創設があります。これまでの一般奨学金（学位取得・地域活躍・高校生留学コー

グローバル人材育成センター埼玉 (GGS) による取り組み

○日本人学生・外国人留学生向けトータルサポート

留学は帰国して終わりではなく、留学後いかに活躍していただくかが最も重要です。一方で、帰国後は通常の就職スケジュールにマッチしないことも多くあります。

GGS では、外国人留学生も併せて留学前から留学後の就職までのトータルサポートを実施しています。日本人学生・外国人留学生の両方を対象にしており、互いの交流も図っている点で、全国的に見ても非常にユニークなセンターとなっています。

(1) 県内企業・国際関係機関へのインターンシップ

県内企業などに対する理解を深め、地域での活躍を促すために、インターンシップを実施しています。

グローバルに展開している企業の活動を知り、将来の活躍の場としての候補となるようマッチングを行っています。

(2) 無料職業紹介・就職セミナーの実施

海外展開を目指す県内企業も増えつつあり、グローバル人材の採用が強く求められています。GGS では国の認可を受けた無料職業紹介を実施し、求職、求人情報を登録できる「就職マッチング&フォローアップシステム」の活用や面接会の開催を通じ、県内企業への就職を支援しています。

日本の就活に不慣れな外国人留学生向けには就職活動の心構えなどの就職セミナーも開催しています。



県内企業出展によるグローバル人材就職面接会の模様

(3) 日本人学生・外国人留学生との交流会

改めて県内企業の魅力を実感していただくために、面接会や就職セミナー以外にも、日本文化体験やスポーツ大会で交流する機会も図っています。昨年は弓道大会、今年のはかるた大会を実施し、大いに盛り上がりました。さらに、県内の魅力スポットを巡る「埼玉学のすすめ」

バスツアーなども実施しています。

○外国人留学生の誘致・県内交流の推進

最後に外国人留学生が県内でより多く活躍いただくための留学生の誘致、交流促進についてご紹介します。



かるた大会の模様

(1) 「埼玉県留学ガイド」の作成

海外から優秀な学生が本県に留学できるよう、産業・観光など、県の魅力や GGS 会員大学の PR、先輩留学生のコメントを掲載した冊子を作成しています。クレアなどの海外事務所や国内日本語学校への配布を通じ PR しています。より多くの方に手に取ってもらえるよう多言語化を進めています。

(2) ホームステイ事業

県内のホームステイを通して、日本文化の理解と地域との交流を図っています。GGS を運営する埼玉県国際交流協会では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、海外選手の家族や大会関係者のホームステイ受け入れ準備にも取り組んでいます。また、外国人留学生にそのテストステイにも協力してもらうことで、県内の国際交流の推進に一役買っています。

今後に向けて

「埼玉発世界行き」奨学生数は 1,800 人以上となり、また、外国人留学生は現在県内で 7,000 人以上の受け入れとなっています。グローバル人材活躍の場は、県内にとどまることはありませんが、地域で活躍いただく方も増やしていきたいと考えています。そのために、冠奨学金による支援企業の輪の拡大や、日本人・外国人留学生・企業・関係団体等の互いのネットワーク化など互いの魅力を知っていただく工夫が必要です。今後も、産学官で協力し、知恵を絞っていききたいと考えています。